

■SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアムについて

世界共通の政策課題としてのSDGsの推進、エビデンスに裏打ちされた健康で若年・子育て世代や高齢者が安心して暮らすことができる住宅及び住生活の実現を図り、今後急速に訪れる高齢化社会、低炭素社会に向けての住宅のあり方について、社会変革の加速化を促すことを目的とし、令和元年度より国土交通省の補助の下運営される「SDGs-スマートウェルネス住宅研究企画委員会」

(委員長：伊香賀俊治(慶應義塾大学教授)、顧問：村上周三(建築環境・省エネルギー機構理事長))を立ち上げ、検討を進めています。

「SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアム」は上記研究の実施にあたり、産業界、特に住宅に関連する幅広い業界関係者の意見を活かし有益な成果をあげることを企図して組織されたものです。

本コンソーシアムにご参加いただきますと、スマートウェルネス住宅に係る検討部会への参加や、最新情報の取得や意見交換、企業単位では検討が難しい評価手法等の開発、実建物での測定・検証結果等研究成果の共有等が可能となります。また、年度研究報告書、コンソーシアム会員限定の討論会への参加、各種シンポジウム等の優先案内を受けることができます。

SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアムへご参加いただける企業・法人を随時広く募集いたしておりますので、是非参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加ご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

SDGs-スマートウェルネス住宅研究開発コンソーシアム事務局

(一般社団法人日本サステナブル建築協会内)

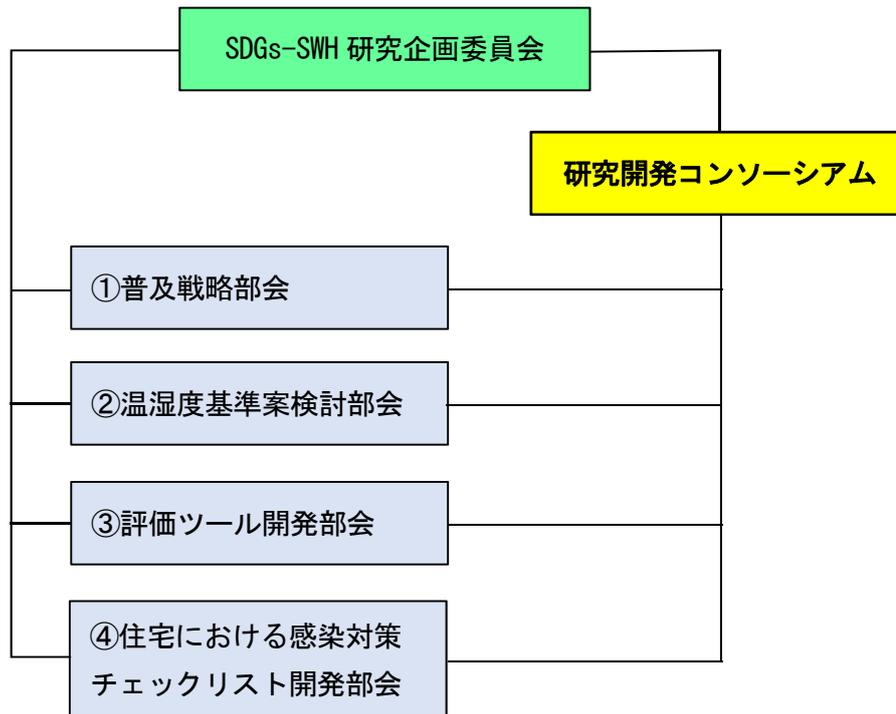
担当：吉田、井田

<ご連絡先>

代表電話：03-3222-6391/FAX：03-3222-6696

E-mail: swhsurvey@jsbc.or.jp

【組織体制】



【研究内容】

- ①普及戦略部会 部会長：村上周三（建築環境・省エネルギー機構理事長）
 - ・全国自治体における SDGs-SWH 政策の取組状況調査と健康住宅政策の将来動向分析
- ②温湿度基準案検討部会 部会長：伊香賀俊治（慶應義塾大学教授）
 - ・住宅と健康に関する国内外の医学的エビデンスに基づく室内温湿度推奨基準案の作成
- ③評価ツール開発部会 部会長：秋元孝之（芝浦工業大学教授）
 - ・最新の医学的エビデンス、省エネ地域区分を拡充した評価ツールの開発
- ④住宅における感染予防対策チェックリスト開発部会 部会長：清家 剛（東京大学大学院教授）
 - ・住宅における感染予防チェックリストの開発